

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	生涯を通じて学びあうまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	三郷地域課	課長	高嶋 俊明
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	高齢化社会の到来とともに、生涯学習では多様なニーズが生まれている。地域公民館では、スポーツを含む各種講座を開催し、市民要望に応えるべく事業を展開している。しかし、質・量共に十分とは言えず、また、各年齢層の参加を促す工夫も必要である。
基本方針 (目指すべき方向性)	市民誰もが多様な学習機会を選択できるとともに、快適な学習環境が確保され、その学習成果が市民の心身の健康づくりに寄与し、家庭や地域に還元されることを目指します。また、図書館は、市民の多様なニーズに応え、質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座数 (回/年)	回	136	150		105	97	64.7	順調	生涯学習課
生涯学習受講者数 (人/年)	人	19,971	21,000		21,547	30,558	145.5	順調	生涯学習課
図書館の年間利用者数 (人/年)	人	391,140	440,000		379,225	414,307	94.2	順調	図書館交流課

施策指標の進捗状況と分析	地域住民の身近な生涯学習の場として、平成28年度にリニューアルオープンした三郷公民館は、使いやすさや清潔感が増し、多くの利用者から好評を頂いた。人気講座の充実や歴史ある地域イベントの「三郷祭」にも力を入れ、多くの市民参加があった。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0110740	三郷公民館施設管理運営事業	地域担当 (三郷)			8,399,720	8,207,000		16,606,720	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
2	0110745	三郷公民館事業	地域担当 (三郷)			5,435,715	5,707,000	5,707,000	16,849,715	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
合計						13,835,435	13,914,000	5,707,000	33,456,435					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	地域公民館が単独で、より多くの各種講座を開設していくには限界があり、中央公民館との連携の中で、市民の生涯学習ニーズに応えていくことが必要と考える。地域公民館の特色を生かしながら、今後の生涯学習に有効な講座を精査していくことも必要。地域の生涯学習の拠点である三郷公民館は、リニューアルオープン後利用者の皆様に、安心・安全に使っていただけるよう施設管理に努めているところであり、また、運営経費の節減にも取り組んでいきたい。
重点化事務事業の考え方	生涯学習の推進は、市民が心身ともに健康で、人生を豊かに過ごす上で必要であり、市民に身近な地域公民館は大きな役割を担っているものと考えます。市民ニーズの把握に常に気を配り、中央公民館との連携の中でより有効な事業展開を模索していきたい。三郷祭は、地域住民の生涯学習の発表の場であるとともに、多くの住民が一堂に集う貴重な場である。今後さらに工夫をし、有効な事業としていきたい。
縮減・廃止事務事業の考え方	各種講座については、地域公民館が開催することに意義があるもの、また、中央公民館が開設することが有効と思われるものなど、市民ニーズも考慮しながら精査をしていきたい。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	平成28年度は、地域の生涯学習の拠点施設である三郷公民館が整備され、利用者の皆様により安全・安心にご利用いただく環境が整い、好評を頂いている。利用時間区分等の見直しや公共施設予約管理システムの更新など、より利用者の利便性の向上が図られた。各種講座も充実され、多くの参加者を得ているところであるが、一方では、公民館事業のマンネリ化の声も上がっていることは事実であり、市民ニーズの把握とそれを受けた事業展開の工夫が求められているところである。高齢化社会を心身ともに健康で、生きがいを持って生きていく上で、生涯学習への取り組みは欠かせないものであり、市民に身近な地域公民館が主となり、生涯学習の推進に努めていく必要がある。

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	協働によるまちづくりの推進
基本方針	協働で築かれるまち
基本施策名	協働のまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	三郷地域課	課長	高嶋 俊明
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市民ニーズが多種多様化している現在、市民と区、そして市が連携を持ち、それぞれの役割の中で住みよいまちづくりを目指していくことが必要であり、課題解決の仕組みづくりを進めている。
基本方針 (目指すべき方向性)	まちづくりにすべての市民が関わり、あらゆる対等な主体の明確な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化することにより、住みよい地域づくりを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
市民活動センター登録団体数	団体	38	150		57	59	38.6	停滞	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	区マニュアルの作成など、市民参加でまちづくりがなされていく一つの指針ができ、地区あるいは地域で抱えている課題を全市で共有し、解決していく仕組みづくりができてきている。今後は、この仕組みを有効に活用していく運用が必要となる。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0102105	三郷地域づくり事業	地域担当（三郷）			1,844,240	2,614,000	1,868,000	6,326,240	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
		合計				1,844,240	2,614,000	1,868,000	6,326,240					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	地区や地域の課題を共有し、行政主導ではなく市民が主体的に考え行動することによって、地域で支え合う協働の仕組み作りを目指し、限られた職員体制の中で効果を上げていきたい。
重点化事務事業の考え方	地域が抱える課題を市民が共有し、市民、区、市が連携し住みよいまちづくりを目指していくことが重要である。協働の意識を醸成し、区という支え合い、助け合いのための住民自治への積極的な参加を促していくことが必要である。
縮減・廃止事務事業の考え方	自立した住民自治を目指すことにより、協働のまちづくりを推進し、市民と行政の役割分担の見直しにつなげていく。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	市民参加の住みよいまちづくりを目指し、区や地域の課題を共有し、問題解決に向けた協働の仕組みづくりを進めてきたが、区への加入問題など住民自治の基本的な部分にも課題があり、市民参画や協働のまちづくり意識の浸透が必要である。

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	健全な自治体経営の推進

	所属	職名	氏名
作成者	三郷地域課	課長	高嶋 俊明
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	支所機能を三郷公民館棟に移転し、複合施設として整備が完了した。複合施設としての利便性を生かし、市民サービスの向上に努めている。リニューアルオープンした施設を、安全・安心にご利用いただくために、適正な管理運用を行う。
基本方針 (目指すべき方向性)	計画行政に徹するとともに、組織機構の見直しや行政改革により、予算編成・予算執行の適正化を図り、持続可能な健全財政の運営を目指します。 また、公平な課税、的確な課税客体の把握とともに、広報活動をより一層充実させることにより、収納率（収入率）を向上します。さらに、広域的な地域づくりを進めるため、より効率的な広域連携を進めていきます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
税収納率（現年分）	%	98.46	98.5		99.1	99.2	100.7	予定以上	収納課
実質公債費比率（3年平均）	%	12.9	12		10.5	9.6		順調	財政課

施策指標の進捗状況と分析	三郷公民館棟は、支所が入る複合施設として整備されたことにより利便性が向上した。清潔感があり、安心・安全な施設として利用者から好評を得ている。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0102100	三郷支所等施設管理運営事業	地域担当（三郷）			26,523,441	24,076,000		50,599,441	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
合計						26,523,441	24,076,000		50,599,441					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	支所、公民館、保健センターが入る複合施設となり、一体的な施設管理を行うことで、事務処理の整理や経費の見直しを行った。
重点化事務事業の考え方	市民が、安心して気持ちよく利用できる施設の維持管理に努める。
縮減・廃止事務事業の考え方	利用者が、気持ちよく便利に利用できる施設の維持管理を目指しながらも、コスト意識を高め経費の節減を図っていく。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	支所機能と公民館が一体化したことにより、市民に身近な行政としての利便性は向上した。整備された三郷公民館棟は、安全・安心な施設として、気持ちよくご利用いただき好評である。また、複合施設となったことで、今まで支所、公民館、保健センターと個別に管理されていた経費が、一本化されたことにより事務処理が整理され費用の見直しにもつなげることができた。